

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告（ https://www.fujimiinc.co.jp ） ただし、事故その他やむを得ない事情によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載することといたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 及び照会先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話無料）

株式会社フジミインコーポレーテッド

お問い合わせ先：経営企画部経営企画課
TEL：052-503-8181（代表）
URL：https://www.fujimiinc.co.jp
Copyright (C) 2022 Fujimi Incorporated. All rights reserved.

各種手続のお申出先

- 支払期間経過後の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

【ご注意】

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問い合わせください。

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
連絡先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843（通話無料）

株式会社フジミインコーポレーテッド 株主通信

FUJIMI TODAY vol.54

2021.4.1 ～ 2022.3.31

2022年6月発行

技術を磨き、心をつなぐ

FUJIMI

証券コード 5384



お客様目線の実践

パウダー＆サーフェスカンパニーへの進化

「働きがい」と「働きやすさ」の醸成

当事者意識とやり抜く力の確立

革新への挑戦



この印刷物は、適切に管理された森林で生産された木材を使った環境配慮型のFSC®認証紙と、植物油を使用し、VOCの排出を抑えた環境対応型リサイクルインキ「ベジタブルインキ」を使用しております。

技術を磨き、心をつなぐ

私たちの「磨く技術」は半導体をはじめとした
さまざまな産業で活かされています。
フジミはお客様にあらゆる製品を
磨いていただくことで、
人々が快適に暮らせる未来の創造に
貢献します。

代表取締役社長

関 敬史



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年2月20日に、当社および子会社のフジミ台湾は、第三者からの不正アクセスを伴うサイバー攻撃を受け、決算発表に遅れが生じる事態となり、株主・投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことをあらためて深くお詫び申し上げます。

2022年3月期の経営成績

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスに関しては新たな変異株のまん延で依然として世界経済に影響を与えており、国際情勢に関しては予てから悪化していた米中関係に2月からのロシア・ウクライナ情勢が加わり国際社会の分断は一層深まりました。これらを背景にした、資源・エネルギー価格の高騰による物価上昇圧力の強まり、世界的な物流混乱はますます進行し、世界経済の不透明感は強まりました。一方、世界半導体市場は、サプライチェーンの混乱が見られたものの、5G、データセンター、自動車や産業機器向けなど、半導体デバイスの旺盛な需要が継続し、市況は堅調に推移しました。

こうした状況下、当連結会計年度の業績は、半導体の旺盛な

需要に支えられた結果、売上高51,731百万円（前期比23.3%増）、営業利益12,059百万円（前期比57.9%増）、経常利益12,490百万円（前期比62.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益9,156百万円（前期比63.3%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも過去最高となりました。期末配当金につきましては、1株につき、100円（前期比35円増）とし、中間配当金を含めた年間配当は過去最高の185円（前期比70円増）となります。

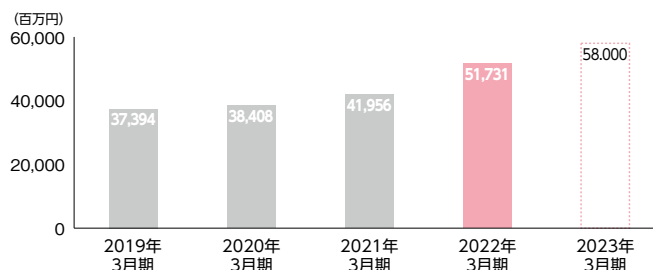
なお、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、当社は本年4月、「プライム市場」へ移行しました。「プライム市場」上場企業として、相応しい体制を整えてまいります。

成長への取り組み

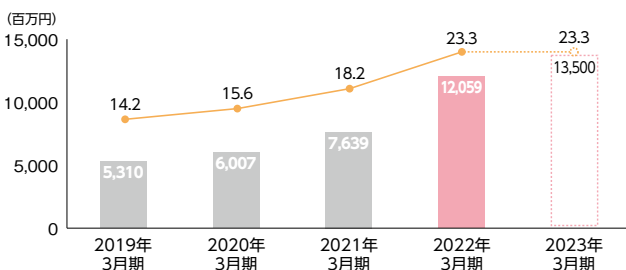
当社が主たる事業領域としている半導体市場は、これまでシリコンサイクルと呼ばれる構造的な景気循環が見られましたが、昨今の技術革新に伴い新製品や新たなサービスが広がっていることから、半導体の需要はいわゆるスーパーサイクルに転じ、需要の拡大が継続すると見込まれています。当社のお客様であるシリコンウェハーメーカー及び半導体デバイスメーカーの多く

連結決算ハイライト ※2023年3月期は予想値

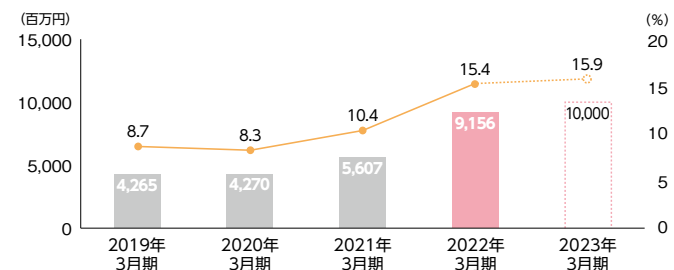
■ 売上高



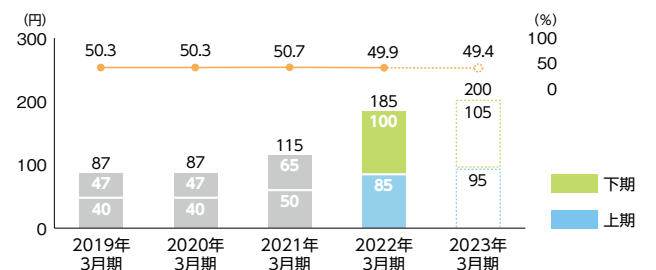
■ 営業利益・営業利益率 折れ線グラフ：営業利益率（右軸）



■ 親会社株主に帰属する当期純利益・ROE 折れ線グラフ：ROE（右軸）



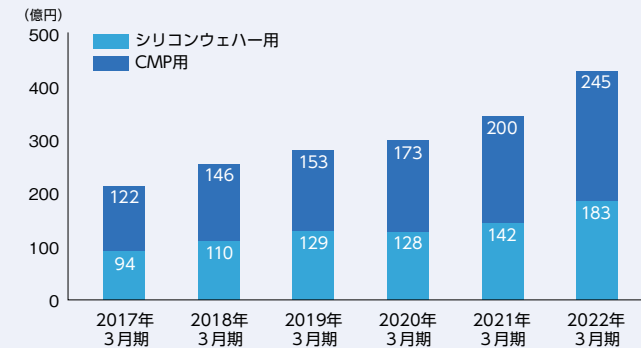
■ 配当金・連結配当性向 折れ線グラフ：連結配当性向（右軸）



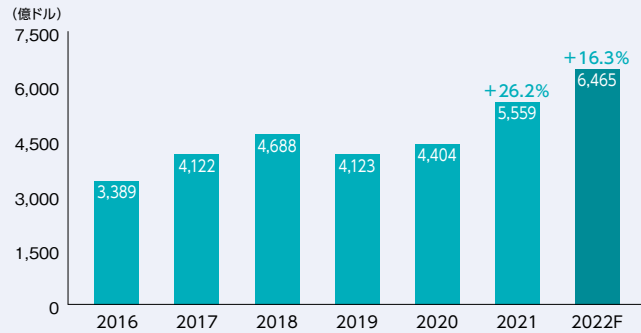
は、旺盛な半導体需要に応えるべく積極的に大規模な設備投資計画を公表・実施しております。

当社においても、将来的に更なる需要増加が見込まれることを鑑み、供給責任を果たすべく、国内外で段階的に設備投資を進めるべく体制を整備しております。

▶当社シリコンウェハー・CMP向け製品売上高推移



▶世界半導体市場動向（年次 実績/予測）



※WSTS（2022/6/7）発表を基に当社でグラフを作成

国内での設備投資

当社の最先端製品の開発・生産・物流施設は岐阜県各務原市に集積しております。各務原台地は、砂礫層が広がっており、揺れにくく液状化のリスクが低い、地震に強い地盤であり、当社製品の製造および品質に重要な地下水（水量・水質）に恵まれております。次世代製品開発や品質保証に関するお客様の高まる要求水準を満たすべく、また、事業領域の拡大を目的として、2019年に新たな開発・試作拠点の用地を取得し、2021年12月末には、CMP・シリコンウェハー向け製品を増産すべく、新工場の用地取得契約を締結しました。

今後、お客様の要望・計画に対応すべく建屋の建設、設備導入をすすめ、数年内の稼働を目指してまいります。

【開発拠点、試作施設】

研究開発センターおよび先端技術研究所のある岐阜県テクノプラザ内に用地を確保しております。

土地概要

所在地：岐阜県各務原市
テクノプラザ
地 積：16,103㎡

【生産拠点】

2021年に整備された各務山工業団地（仮称）の1区画を取得契約締結しております。既存施設とのアクセスが良好です。

土地概要

所在地：岐阜県各務原市各務西町 地積：28,120㎡



海外での設備投資

【台湾】

当社は2011年8月、台湾でのCMP事業拡大のため、当社100%出資の子会社フジミ台湾を設立し、台湾苗栗縣銅鑼郷に、生産・研究開発・販売機能を統合した銅羅工場を建設しました。

台湾は半導体ファウンドリ*市場の世界シェアトップであり、同国のファウンドリ企業では、最先端世代向けの研究開発や先端世代の量産に向け、多額の投資が行われております。当社においては、需要増加を見越して建屋を既に増築しており、お客様の要望・計画に応じて、生産ラインを拡充するなど、安定供給に対応してまいります。



フジミ台湾

▶半導体ファウンドリ市場の世界シェア（メーカートップ5）

順位	企業名	国	シェア	
			2021	2022F
1	TSMC	台湾	53%	56%
2	Samsung	韓国	18%	16%
3	UMC	台湾	7%	7%
4	Global Foundries	米国	6%	6%
5	SMIC	中国	5%	4%

※TrendForce社発表（2022/4/25）を基に表作成

【米 国】

当社の米国進出は、1984年6月イリノイ州ベンセンビルでの販売会社設立を始まりとします。現在、当社100%子会社フジ

ミコーポレーションとして、オレゴン州ポートランド郊外のトゥアラタンに本社機能、開発、生産拠点を構えております。

半導体産業の復権に向けて動き出した米国においては、世界の大手半導体メーカー各社が大規模な投資を発表し、既に着手しております。お客様の稼働開始時期を念頭に、当社においても敷地内に建屋の新設・設備の導入を予定しております。



フジミコーポレーション

▶半導体大手3社の新工場建設と投資規模

企業名	投資規模	目 的
Intel	400億ドル	オハイオ州、アリゾナ州でそれぞれ2工場建設
TSMC	120億ドル	アリゾナ州で新工場建設
Samsung	170億ドル	テキサス州で新工場建設

※各社の発表情報をもとに作成

最後になりますが、製品の安定供給に向けた設備投資を進めるとともに、次世代製品開発や品質保証に関するお客様の高まる要求水準を満たすべく研究開発や品質保証のレベル向上を図ってまいります。また、今回の不正アクセスを伴うサイバー攻撃を教訓に、サイバーセキュリティを含めた緊急事態に備える事業継続計画を拡充し、事業継続力の強化に取り組んでまいります。

皆様のご厚情に感謝するとともに、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【ファウンドリ】半導体メーカーやファブレス（工場を持たない会社）からの委託を受けて半導体チップの製造を行う企業・サービスのこと

用途別の動き

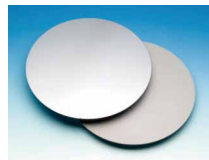
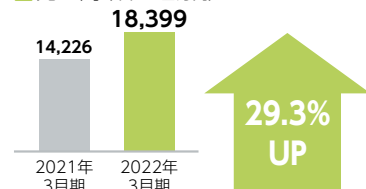
シリコンウェハー用

売上構成比 35.6%

半導体業界の高い稼働に支えられ、ラッピング材の売上高は6,249百万円(前期比35.7%増)、ポリシング材の売上高は12,149百万円(前期比26.3%増)となりました。

半導体基板となるシリコンウェハーを高精度に平坦化・鏡面化する研磨工程で用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■ 売上高 (単位: 百万円)



シリコンウェハー

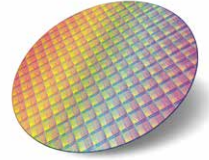
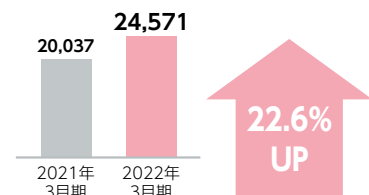
CMP用

売上構成比 47.5%

ロジック、メモリ向けともに需要は好調に推移し、売上高は24,571百万円(前期比22.6%増)となりました。

半導体デバイスの製造工程で用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■ 売上高 (単位: 百万円)



デバイスウェハー

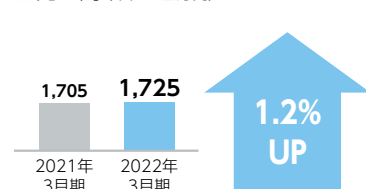
ディスク用

売上構成比 3.3%

SSD(ソリッドステート・ドライブ)への置き換え及び一部顧客の事業撤退に伴う生産終了の影響もありましたが、売上高は1,725百万円(前期比1.2%増)となりました。

デジタルデータの記録媒体であるハードディスクドライブ用ディスク基板の製造工程に用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■ 売上高 (単位: 百万円)



データセンター

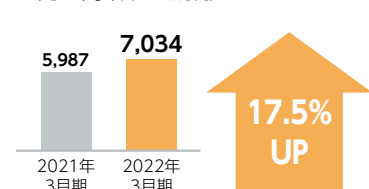
一般工業用・その他

売上構成比 13.6%

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、自動車及び産業機械向け需要の回復もみられ、売上高は4,408百万円(前期比16.7%増)、その他につきましては、2,625百万円(前期比18.9%増)となりました。

多種多様な用途向けに研磨材や機能性材料を提供しております。また、半導体装置、航空機及び鉄鋼などさまざまな業界の溶射用途向けに溶射材を提供しております。

■ 売上高 (単位: 百万円)



溶射材の主力製品 SURPREX

NEWS&TOPICS

BSR webに当社へのインタビュー記事が掲載

当社は、自動車塗膜用の研磨材を数年研究開発し、同用途向けの「MIRAFLEXシリーズ」を2021年より上市しました。2022年2月14日、本製品の上市をふまえ、株式会社プロトリオスによるアフターマーケットのポータルサイトBSR webに、当社新規事業本部長(現・研磨ソリューション本部長)の森永のインタビューが掲載されております。本インタビューでは、自動車補修市場への参入のきっかけや製品の特徴、これからの展開について述べております。ぜひご覧ください。

株式会社プロトリオスのBSR web

<https://bsrweb.jp/news/detail.php?id=000746>



自動車塗膜用の研磨材「MIRAFLEXシリーズ」

石徹白での活動紹介ビデオ2作目を制作

2022年7月に、石徹白での活動紹介ビデオの2作目をホームページに掲載する予定です。本ビデオでは森の観察の様子や森づくりに関する有識者のご意見、社員の意気込みなどをご紹介します。1作目も同ページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



<https://www.fujimiinc.co.jp/csr/action/wateroffset.html>

CBCラジオ「レポドラ日記」に出演

2022年1月12日に、CBCラジオ「つばいノリオの聞けば聞くほど」のレポドラ日記というコーナーで生放送に出演しました。番組では当社の説明と、社員にインナーモチベーション向上を目的に同ラジオでのCM原稿を応募した旨のエピソードや原稿に寄せられた思いを紹介しました。



(左) CBCラジオ レポートドライバーの上田知宙さん (右) 当社社員

連結財務諸表

連結損益計算書	2021年3月期	2022年3月期
売上高	41,956	51,731
売上原価	22,951	27,343
売上総利益	19,005	24,388
販売費及び一般管理費	11,366	12,328
営業利益	7,639	12,059
営業外収益		
受取利息	70	49
受取配当金	30	31
為替差益	—	183
固定資産売却益	1	82
その他	113	127
営業外収益合計	214	473
営業外費用		
為替差損	122	—
その他	22	42
営業外費用合計	144	42
経常利益	7,709	12,490
特別損失	467	108
税金等調整前当期純利益	7,242	12,382
法人税、住民税及び事業税	2,037	3,247
法人税等調整額	△402	△21
当期純利益	5,607	9,156
親会社株主に帰属する当期純利益	5,607	9,156

(単位：百万円)

売上高

5G、データセンター、自動車や産業機器向けなど、半導体デバイスの旺盛な需要が継続し、シリコンウェハー向け及びCMP向け製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は前期比23.3%増の51,731百万円となりました。

営業利益

前期比57.9%増の12,059百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

前期比63.3%増の9,156百万円となりました。

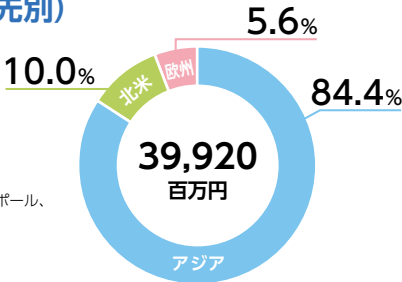
海外売上高（仕向先別）

(2022年3月期)

※各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりです。
■ アジア：台湾、ベトナム、シンガポール、マレーシア、韓国、中国
■ 北 米：米国、カナダ
■ 欧 州：ドイツ、イタリア、英国

海外売上高	2021年3月期	2022年3月期
海外売上高	32,214	39,920
連結売上高	41,956	51,731
連結売上高に占める割合	76.8%	77.2%

(単位：百万円)



連結貸借対照表

	2021年3月期	2022年3月期
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,424	31,662
受取手形及び売掛金	9,098	11,581
有価証券	1,900	4,900
たな卸資産	7,326	9,325
その他	231	595
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	47,967	58,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,553	6,528
その他(純額)	7,022	7,697
有形固定資産合計	13,575	14,225
無形固定資産	440	349
投資その他の資産		
投資有価証券	2,562	1,844
繰延税金資産	1,117	1,108
その他	119	116
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,789	3,059
固定資産合計	17,806	17,634
資産合計	65,773	75,684

2021年3月期 2022年3月期

負債の部		
流動負債		
買掛金	2,880	3,986
未払法人税等	1,274	2,307
賞与引当金	1,438	1,395
株式給付引当金	—	796
その他	2,714	2,999
流動負債合計	8,309	11,484
固定負債		
退職給付に係る負債	901	903
株式給与引当金	329	43
その他	144	285
固定負債合計	1,375	1,232
負債合計	9,684	12,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	6,878
利益剰余金	50,303	55,705
自己株式	△5,448	△6,753
株主資本合計	55,179	60,584
その他の包括利益累計額	908	2,383
純資産合計	56,088	62,967
負債純資産合計	65,773	75,684

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、9,301百万円の収入となり、前期に比べ、558百万円増加しました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加による資金の増加があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,097百万円の支出となり、前期に比べ、1,055百万円増加しました。これは前期に投資有価証券の償還による収入があったこと及び当期に有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、3,825百万円の支出となり、前期に比べ、1,344百万円増加しました。これは主に、配当金の支払いが増加したことによるものであります。

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

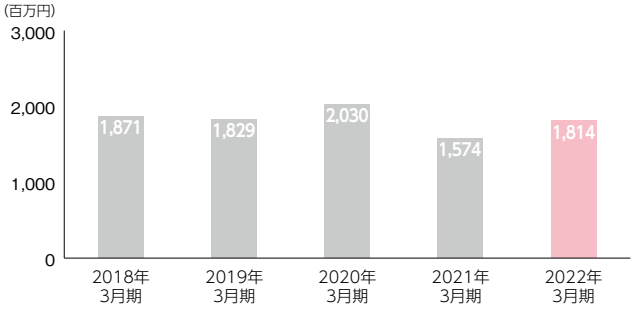
当社は、株主に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、配当につきましては連結配当性向を50%以上とすることを目標として、業績に応じた積極的な株主還元を実施するとともに安定配当の継続にも留意することを基本方針としております。このような方針のもと、当期末配当金につきましては、1株につき100円といたします。この結果、中間配当を含めた当期の配当金は1株につき185円となります。

連結キャッシュ・フロー計算書

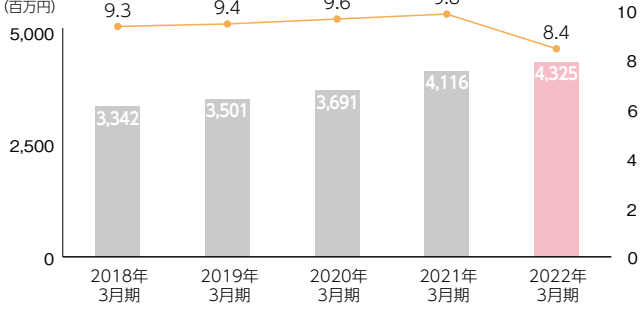
	2021年3月期	2022年3月期
●営業活動によるキャッシュ・フロー	8,743	9,301
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△1,097
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,481	△3,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	279	606
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,499	4,984
現金及び現金同等物の期首残高	22,919	29,418
現金及び現金同等物の期末残高	29,418	34,402

(単位：百万円)

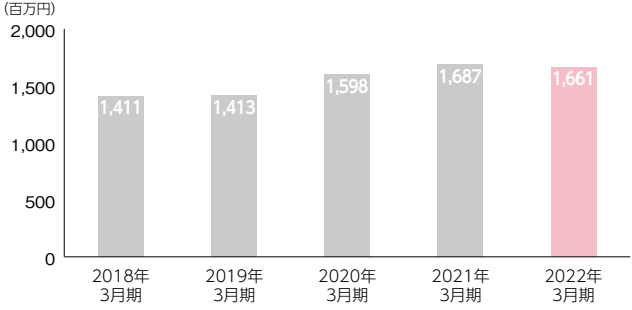
設備投資



研究開発費・売上高比



減価償却費



株式情報

2022年 3月 31日現在

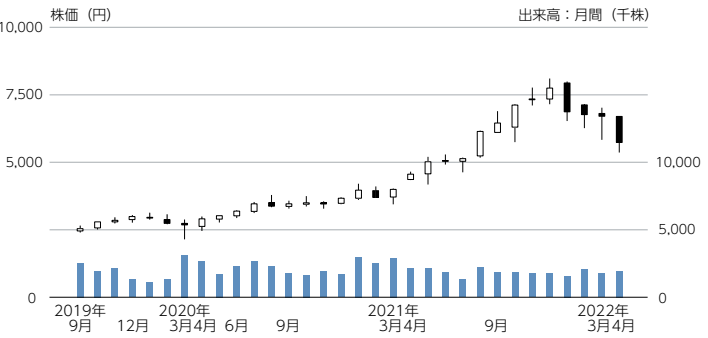
株式の状況

株式数	発行可能株式数	120,000千株
	発行済株式総数	28,699千株
	株主数	7,036名

大株主 (株主名)	持株数 (千株)*1	①持株比率 (%)*2	②持株比率 (%)*3
有限会社コマ	4,460	17.6	15.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,807	11.1	9.7
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,143	4.5	3.9
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,137	4.5	3.9
株式会社かんぽ生命保険	875	3.4	3.0
株式会社三菱UFJ銀行	728	2.8	2.5
フジミ取引先持株会	676	2.6	2.3
日本生命保険相互会社	639	2.5	2.2
一般財団法人越山科学技術振興財団	600	2.3	2.0
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	549	2.1	1.9

*1 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2以下を切り捨ててしています。
*2 ①持株比率は、自己株式(3,428,190株)を控除して計算しております。
*3 ②持株比率は、自己株式(3,428,190株)を含めて計算しております。

株価及び出来高の推移

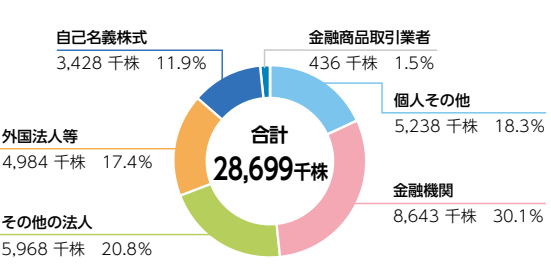


株主分布状況

2022年 3月 31日現在



所有者別株主数



所有者別持株数

役員

2022年 6月 29日現在

取締役	関 敬史
取締役	大脇 寿樹
取締役	鈴木 勝弘
取締役	川下 政美*
取締役	浅井 侯序*
取締役	吉村 温子*
監査役	藤川 佳明
監査役	高橋 正彦**
監査役	岡野 勝**

* 印は社外取締役 ** 印は社外監査役

会社データ

2022年 3月 31日現在

商 号	株式会社フジミインコーポレーテッド
証 券 コ ー ド	5384
本 社 所 在 地	〒452-8502 愛知県清須市西枇杷島町地領2-1-1
設 立 年 月 日	1953年 (昭和28年) 3月20日
資 本 金	4,753百万円
代 表 者	代表取締役社長 関 敬史
従 業 員	980名 (単体693名)